

Advanced Imaging Seminar 2020 ご紹介

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 北海道支社

Advanced Imaging Seminar2020 が東京 JR タワーホールで2月8日に開催されました。今年も北海道では、札幌のサテライト会場にて生中継されました。当日は遠方のお客様（一番遠くからは帯広市の方も来られました！）にも参加頂き、合計23名の先生方が参加されました。

超高精細CTであるAquilion Precisionをご使用頂いている2つのご施設様のお話を中心としたCTセッションの他にも、医療ネットワークやMRIのセッションもあり、非常に盛況な会であったと感じています。



AIS プログラム



当日の会場の様子

CTセッションでは、北海道大学病院の工藤先生を座長にお招きし、3名の先生よりご講演を賜りました。簡単に各演者の先生方の内容をご紹介します。

■虚血性心疾患に対する超高精細 CT

演者：所沢ハートセンター 谷脇 正哲先生

超高精細 CT である Aquilion Precision で撮影することでステント内腔の視認性が向上し、2.25mmφのステントであっても評価可能となったことをご紹介します。また、石灰化の病変においてもアーチファクトの低減が可能になったとご紹介して頂いております。

■脳血管疾患に対する超高精細 CT

演者：杏林大学医学部 脳神経外科教室 斎藤 邦昭先生

従来のCTはクリップが太く見えてしまうため周囲の血管の走行が認識しにくくなるが、Precision ではそれが改善できるようになるとのお話を頂いております。またMRIと比較した場合、Precisionの方が骨の描出が良く手術のイメージが付きやすいとのコメントを頂いております。

■救急診療におけるハイブリッドERシステムの効果

演者：島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座 島根大学医学部附属病院
高度外傷センター・救命救急センター 渡部 広明先生

救急初期治療・緊急CT・緊急血管造影・緊急手術が一括して可能なユニットであり、部屋の移動無しでそれらを並行して行うことが出来るハイブリッドERについてご紹介して頂きました。救急患者が1つの部屋で全ての検査・治療を完結出来ることで、今まで救うことのできなかつた命を救うことが出来る！と熱いお話しをして頂きました。

今後も当社としては様々なセミナーやイベントを開催して参りますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。